



人の気持ちを考え、発言、行動する

南小学校 六年 松尾 太路

ぼくは、「人権」という言葉を先生の話で知りました。そして、「一人一人に「人権」があることも知りました。また、社会科の学習で、日本国憲法には「基本的人権の尊重」があることを知り、「人権はだれもが持っている権利である」と分かりました。そこで、「人権」ということを考えた時に、学校での出来事を思い出しました。

ある日の昼休み、ぼくは、二つのチームに分かれてサッカーをしていました。ぼくのところはボールが飛んできたので蹴りました。すると、相手のチームから、「なんで飛ばすとかやん。」とつてつて。」等の言葉を言われました。ぼくは、とても心が傷つき、悲しみと怒りがこみ上げてきました。でも、周りとは仲良くしたいし、時間もなかったのですが、その時は我慢して終わりました。

また、違った体験もしました。それは、ぼくが外遊びに遅れ、キック

ベースの打順が最後になった時のことです。ある友達が打順を譲ってくれたのです。その友達はとても仲が良いというわけではなかったのですが、きつとぼくがたくさん

これらの体験から、軽い言葉やその時々瞬間の気持ちで言ったことが、相手からすると、嫌な気持ちになったり、嬉しい気持ちになつたりすることが分かりました。ぼくも、相手の気持ちを考えて行動しているつもりですが、つい相手のことを考えずに言ってしまう時があります。

学校生活を送る上では、自分にとつていいこともそうでないことも起ります。ぼくが体験から学んだことは、人の気持ちを考えるだけでなく、考えを行動に移すことです。また、自分自身も相手の立場に立つた言葉かけをすることが

大切だということでした。そこで、ぼくは、これから、

【先生のコメント】 太路さんは、授業で学習したことを自分の体験や生活と重ね合わせて考えることができました。また、周りの友達への行動だけを指摘するのではなく、自分自身の行動も振り返ることができました。

決める、自分の体験を今後になかして、このように行動しようとする姿勢に感心しました。 残りの小学校生活、しっかりと楽しんでください。学校生活が楽しく充実したものになるよう、卒業まで一緒に頑張りましょう。

人権擁護委員による人権相談(無料) ひとりで悩んでいませんか?

【人権何でも相談所】 日時 9月20日(水)午後1時〜4時 場所 山川市民センター 相談内容 いじめ、体罰、部落差別、男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みことなど

【女性相談所】 日時 9月14日(木)午前10時〜午後3時 場所 福岡法務局柳川支局 相談内容 原則として女性からの相談(夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクハラ、パワハラおよびストーカー行為など) ※女性の人権擁護委員が相談に応じます。

【常設相談】 時間 午前8時30分〜午後5時15分 (土、日、祝日を除く) 場所 福岡法務局柳川支局 相談担当者 法務局職員または人権擁護委員 相談電話番号 (TEL)0570-003-110 福岡法務局柳川支局(TEL)72-2640



人権イメージキャラクター

今村 大志さん

高田町濃施に店を構える「CEDAR レザー&カフェ」で、革製品の販売やパスタ、ピザなどを提供している今村大志さん。以前は小学校の先生をしていたが、革製品の作製・販売をしたいという思いから、昨年4月に当店をオープンした。

良さも提供したいです」 今村さんは1人で料理と革製品を作り、接客までこなしている。「体1つでは足りないですね」と笑う今村さんの原動力となっているのは、お客様の「ありがとう」の言葉。「人と会話をすることが大好きですし、やりがいになっていきます。今の仕事は、ある意味自分のわがままで、お客様が来てくださるから続けることができます。『ありがとう』『おいしい』などの言葉もいただけ、こちらこそ感謝の気持ちでいっぱいです」

高田町俳句会 跳人舞ひラッセララッセ 佞武多舞ふ 板橋 寿 公園のるつぼとなりし 蟬時雨 岩屋 清美 稲妻や焦土の記憶 鹿子生 憲二 風鈴のかすかな音の 紙田 幻草 土砂降りの自然の 猿渡 洋子 花菖蒲はらりと 杉野 博子 鎌涼し朝食前の 西山 ワカ子 夏安居の 野田 憲二 密やかに 野田 岳比古 朝光の川風涼し二階の間 松尾 光恵



いまむら だいし 趣味は野球観戦と話をすること・聞くことです。 【好きな言葉】 少年よ大志を抱け! 【みやま市にひとこと】 人が温かいところが好きです。

革製品の販売だけでなく、より多くの人が集える場所になりたいという思いからパスタなどを提供するようになった。 「ただ料理を提供するだけでなく、接客時のさりげない会話を通して、居心地の

【革製品とパスタソースをみやまの特産品としてブランド化して、PRしたいです。ほかに地元の小生たちに社会経験の場を提供したい。当店で接客などを体験してもらおうことで、子どもたちの可能性を広げることができればと思います。私のわがままに賛同してくださった皆さんに恩返しをしたいです」